

一般会計予算決算常任委員会
理科大分科会記録

平成 3 0 年 3 月 2 6 日

【開催日】 平成30年3月26日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時12分～午前10時29分

【出席委員】

分科会長	高松秀樹	副分科会長	藤岡修美
委員	奥良秀	委員	笹木慶之
委員	中村博行	委員	松尾数則
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰	副議長	矢田松夫
----	-----	-----	------

【執行部】

副市長	古川博三	大学推進室長	松永信治
大学推進室副室長	大谷剛士	大学推進室職員	榎坂昌歳

【事務局出席者】

局長	中村聡	議事係長	中村潤之介
----	-----	------	-------

【付議事項】

- 1 議案第50号 平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）について
(理科大分科会所管分)

午前10時12分 開会

高松秀樹分科会長 それでは、一般会計予算決算常任委員会理科大分科会を開催いたします。本日は、議案第50号平成29年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）についてです。執行部の説明を求めます。

古川副市長 本日は本会議を急きょ開いていただきまして、当該議案の上程、引き続きまして特別委員会の開催ということで、非常にタイトですけど対応していただきまして、まずもってお礼を申し上げたいと考えます。去る３月１６日の当委員会の所管事務調査の中で、工期の変更契約と繰越明許の議案について、地方自治法の中で議会の議決、また専決規定という二つの手法があるので、タイトな中で動くということを御説明いたしましたが、議員の皆様からの御指摘、また最後に委員長から、できる限り上程するように努力をしてほしいという御示唆をいただきました。そうした中で、大学推進室の職員以下いろいろ忙しい中頑張りまして、今回繰越明許の補正予算の議案は上程できる運びになりました。しかし、変更契約は契約保証書の期間が要するという物理的に難しい面もありまして、今回の上程に至らなかったことについては御報告申し上げたいと考えます。本日、大学推進室も精力を挙げて議案を上程させていただきましたので、御審議のほどよろしく申し上げます。

大谷大学推進室副室長 それでは、議案第５０号、平成２９年度山陽小野田市一般会計補正予算（第９回）について御説明させていただきます。今回の補正予算は、平成２９年度予算で予定をしていました山口東京理科大学薬学部校舎建設事業のうち、今年度内に完了しない工事等について、予算の繰越手続を行うもので、繰越明許費としまして２４億７，７３２万２，０００円を計上するものです。繰越事業の内訳を御説明します。お手元に資料１から資料３の３枚の資料をお配りさせていただいております。まず資料２ですが、これは３月１６日の特別委員会でお配りをさせていただいた資料と同じのものです。繰越し手続の必要な工事等は、委託料が１件、工事請負費が８件、備品購入費が１件の計１０件で、工期については、Ａ棟関係が今年の５月１９日まで、Ｃ棟関係が今年の１１月３０日まで、汚水処理設備工事は平成３０年度の危険物倉庫設置工事の実施予定を踏まえ、今年の１１月３０日までとしており、繰越額の内訳は、「工期延長に伴うもの」、「仮使用に伴うもの」、「その他

理由によるもの」、の区分をしてお示ししています。その際に、C棟関連の「その他理由によるもの」の金額が精査できていませんでしたので、網掛けで概数をお示しさせていただきました。続いて資料3は、資料2で概数であったC棟関連の「その他理由によるもの」の金額が精査できましたので、その金額を訂正したものです。それから、汚水処理設備工事については、「仮使用に伴うもの」で、再検討を要するものがありましたので現在調整をしており、こちらは概数となっています。次に、資料2及び資料3、それから平成29年度支払額を踏まえ、それぞれの事業の繰越額をお示ししています。汚水処理設備工事については、最終精査が完了していませんので、次年度に契約変更をすることとしています。また、未定調整分ですが、A・B棟機械設備工事の試運転が調整できていないこと、C棟の搬入備品との整合が図られていないこと、危険物倉庫設置工事がまだ発注されていないことなどから、概数で予算を送ることとしています。それと、備品購入費ですが、現在、業者が事前に市に提出した搬入リストに基づき備品搬入を鋭意進めており、大学推進室も3月31日までこの検収を行うことにしていますが、最終確定は3月31日となりますので、こちらの金額も概数となります。補正予算に係る説明は以上です。また、本来であれば、議決をいただいた契約についても、このたびの議案の上程と同様に契約金額の変更に係る議案の提出をすべきところですが、契約保証等が間に合わないため、この3月議会に上程することが間に合いませんでした。大変申し訳ありませんでした。御審議のほど、よろしくお願いします。

高松秀樹分科会長 執行部からの説明が終わりました。委員の質疑を求めます。

山田伸幸委員 先日の委員会でも、本会議での議決を求めてきたわけですが、今回、精査が間に合わない一番大きな原因は。

松永大学推進室長 B棟の工事を職員総動員して仕上げたため、そのほかの工事の精査が後に回ってしまった。理由はこの1点です。

山田伸幸委員 契約状況表、資料１ですか、この中で未契約分が二つ残されていて、未定調整分というのがありますが、これはどういうものか。

松永大学推進室長 汚水処理設備工事については最終精査に至っておらず、概数的には２，３００万円程度となろうかと思いますが、小さいところの精査がまだ終わっていませんので、数字を１００万円単位で切り上げて翌年度に繰り越して正確な額を出して、次年度に契約をする。最終的には７，７７６万円に２，３００万円を加えた額程度で契約できる見込みとしていますが、その小さいところまで精査できていないということです。未定調整分は、一つは備品搬入の関係でＡ・Ｂ棟機械設備工事の試運転の見通しが立っていないため、紀伊國屋等々の搬入計画や三建設備との試運転調整を宿題として残したまま次年度に繰り越さざるを得なかったことでの概数。それから、Ｃ棟の関連の工事は大型備品等が入ってくる関係で電気の容量、排水、建物構造の問題が課題として残るであろうと考えられますので、これについても概数で予算の枠を繰り越したということです。汚水処理装置については、危険物倉庫内に入る機械設備で、この入札が次年度予定で行われていないため、それぞれの工事の持ち分についての正確な見込みが立っていないため、未定調整分として３，６００万円程度を予算の枠として次年度へ繰り越すこととした。

山田伸幸委員 建築主体工事等の完成が来年度になるものが、既にＡ，Ｂ棟機械設備工事は今から、Ａ棟建築主体工事は１０億７，８３０万円の支払がされているが、こういった大型契約の場合、手付が幾らで、途中精算が幾ら、最終という形での支払になるのか。

松永大学推進室長 契約当初は前払金が出てくる。途中は業者から時期を見て出来形（部分的に完成した分について）の支払をお願いしたいという要請があり、これは随時ということになります。最終的に完了した後に精算支払ということになりますので、一つの工事で一般的には前払金、部

分払金、精算払金になります。

山田伸幸委員 本来、工期に間に合わなかった場合は、ペナルティ等が科せられていたはずだが、その場合、どの程度の金額となっていたか。

松永大学推進室長 今計算はしてません。

山田伸幸委員 完成が遅れたことによって紀伊國屋の備品搬入が進んでいないが、平成32年3月26日まで随時今後ずっと教授が入ってくるたびに、工事が発生するということか。

松永大学推進室長 紀伊國屋の備品搬入計画は、当初総額の契約のほか、各年度に必要と思われる金額を当初割り振って、平成29年度、平成30年度、平成31年度にそれぞれ支払限度額を設けました。平成29年度設けた支払限度額が、13億4,211万6,000円となっていて、これが年度内に終わりませんでした。紀伊國屋から搬入リストをもらい設備として必要であるとの認識はあるので、計画的に鋭意搬入をしてくださいということで、3月31日まで搬入の確認手续をしていく予定です。当初リストと確認手續済の数値が一緒であれば繰越明許額も確定しますが、確認をしてみないと確定ができませんので、概数でお示しをさせていただくこととなったということです。

山田伸幸委員 年度末を控えて、非常にバタバタしているというのがこの表からも見えてくるんですが、これに対して文部科学省へ、こういった状況は知らされているか。

松永大学推進室長 文部科学省へは、2月の初旬に大学から報告をしています。が、それ以降文部科学省から特に通知等は来ていませんので、今の状況を文部科学省は知らないと思われます。

中村博行委員 金額がデリケートで、総工費が当初１２０億円でしたが、これが今挙げられたような２，３００万円とか３，６００万円とかは、１００万円単位で切上げとおっしゃっていましたので、今回の数値が上限と考えていいか。

松永大学推進室長 これが上限です。繰越明許はこれを超えると契約変更ができなくなるので、見込まれるものについては、アバウトで１００万円単位で上限を見込ませていただいたと御理解いただきたいと思います。

高松秀樹分科会長 財源変更もないですか。

松永大学推進室長 財源調整は、財政課が審議しているので、特に問題ないと考えます。

高松秀樹分科会長 ほかに質疑はありますか。よろしいですか。なければ質疑を終結いたします。以上で、一般会計予算決算常任委員会理科大分科会を終わります。お疲れ様でした。

午前１０時２９分 散会

平成３０年（２０１８年）３月２６日

一般会計予算決算常任委員会理科大分科会長 高 松 秀 樹